



# PRO CHEF

## バーチカルフードカッター

# 取扱説明書

バーチカルフードカッター

型式 CV-150B



- このたびは、プロシェフ バーチカルフードカッターをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

## も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■刃物円盤(別売品)のご案内	5
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	8
●プロテクターについて	9
●安全スイッチについて	9
■お手入れ	10
●毎日のお手入れ	11
●汚れが目立つときのお手入れ	11
■点検	12
●1年に1~2回の点検	12
●保管方法	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■譲渡・廃棄	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

お客様用

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

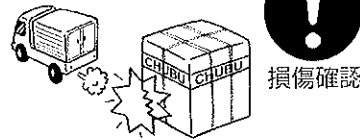
## 図記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

## 警告

**お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること**

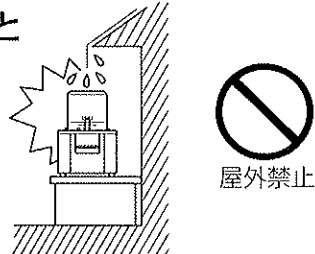
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

**屋外で使用しないこと**

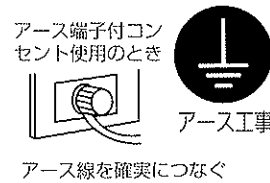
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

**アース工事を必ず行なうこと**

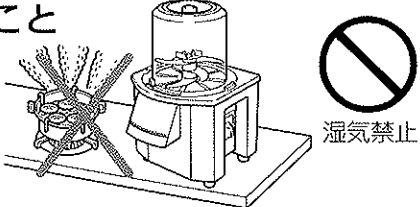
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

**湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと**

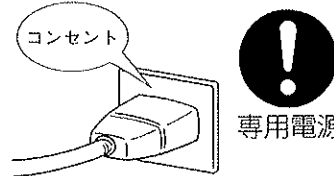
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

**電源は専用コンセントを使用すること**

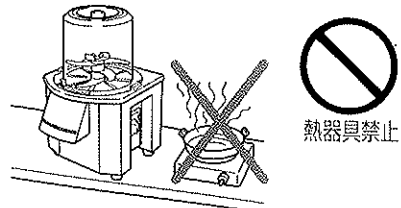
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

**熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと**

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

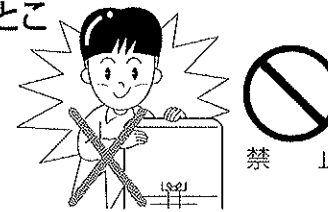


熱器具禁止

## 警告

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

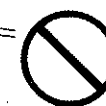
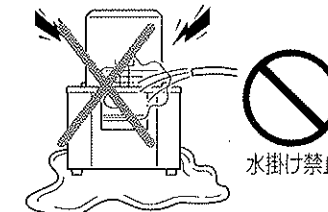
感電、ケガの原因になります。



禁止

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

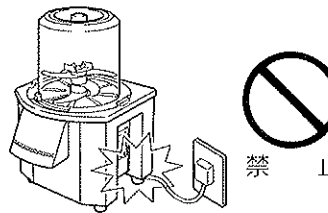
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

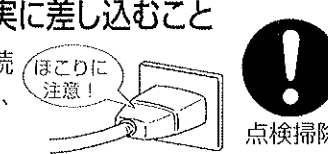
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

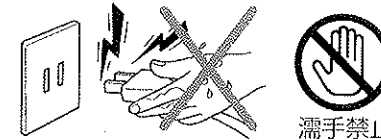
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

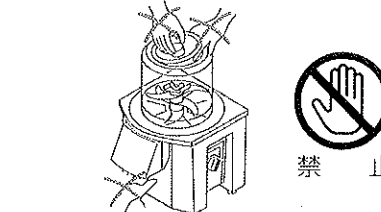
感電の原因になります。



濡手禁止

運転中に切削筒や、排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

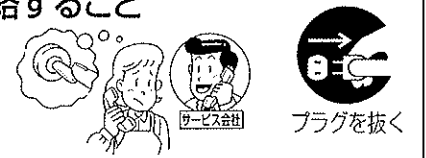
無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

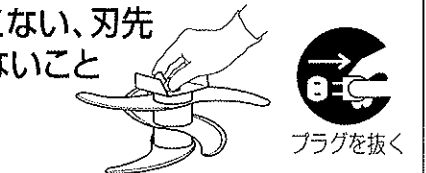
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

刃物セットの取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

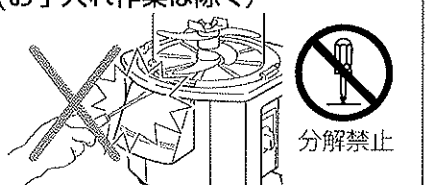
ケガの原因になります。



プラグを抜く

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

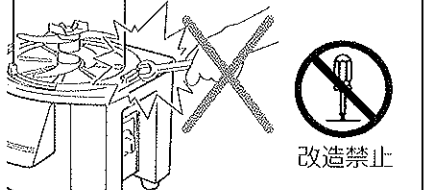
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

食材を入れるときは、無理に手で押し込まないこと

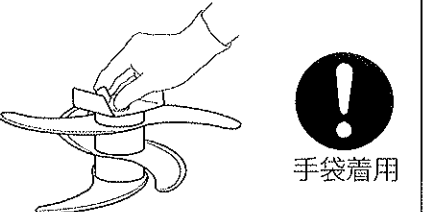
無理に手で押し込むと、手が食材と一緒に入り込み、ケガの原因になります。



禁止

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

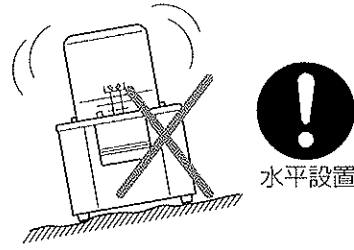


# 各部のなまえとその働き

## ⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

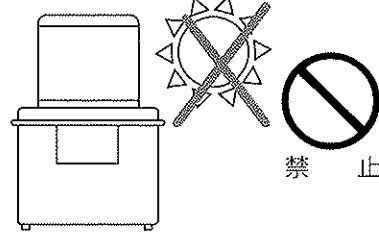
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

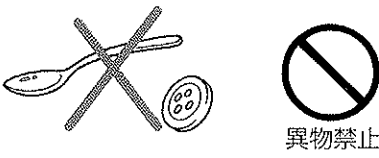
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

切削筒の中に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

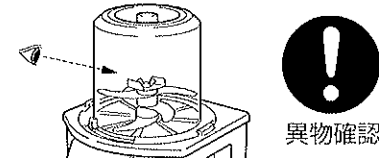
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削筒の中に入っていないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

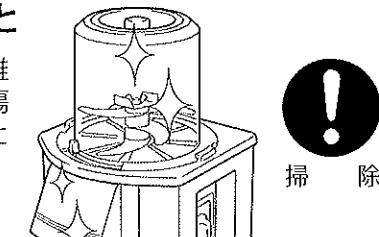
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

切削筒内や排出口・排出室は使用前に必ず掃除をすること

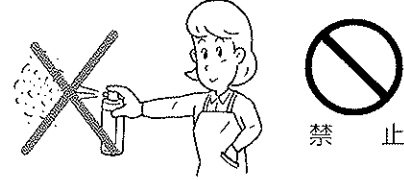
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

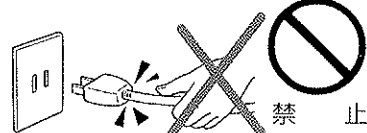
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

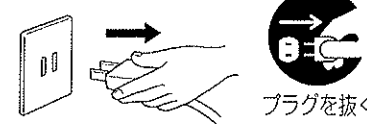
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

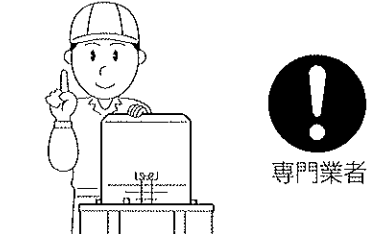
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

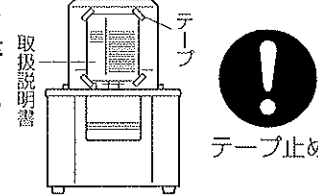
廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

## ■使用目的

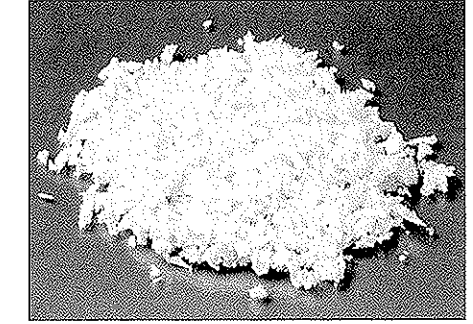
●キャベツなどの葉野菜をみじん切りにする製品です。



■粗

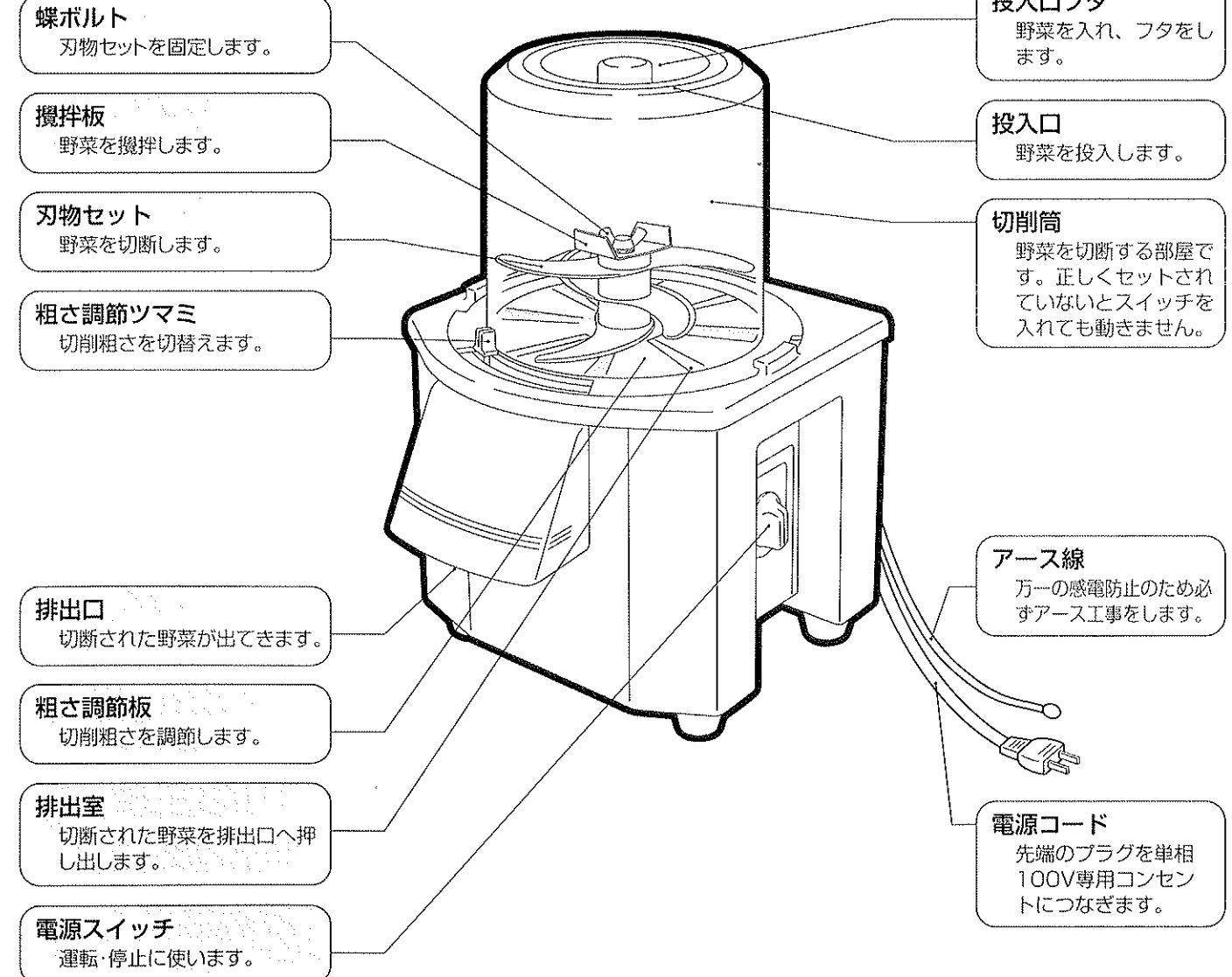


■中



■細

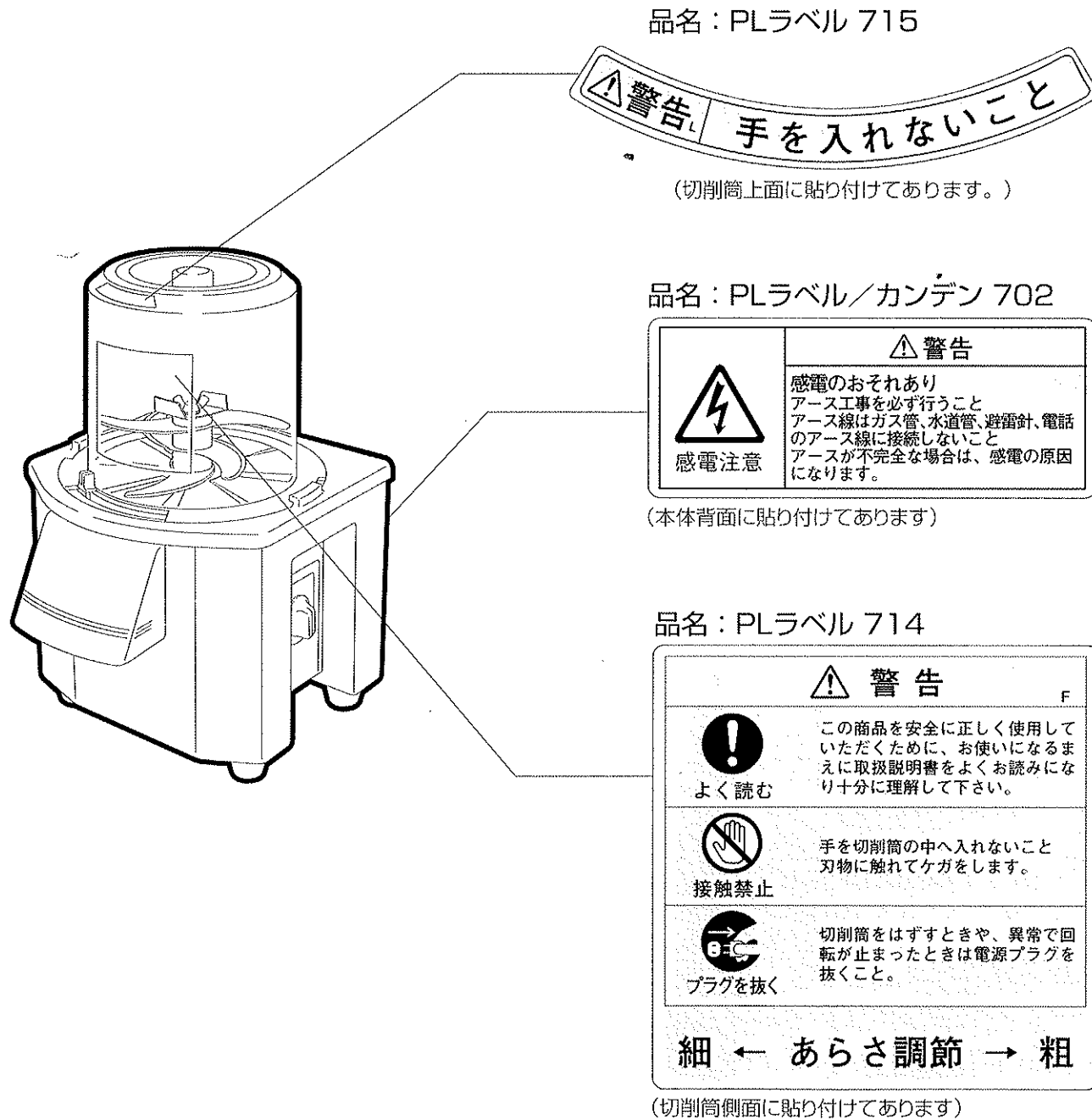
## ■本体



## ■注意ラベルの貼付位置

### お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。  
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。



## ■設置

### 警告

#### アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話の  
アース線に接続しないでください。アースが不完  
全な場合は、感電の原因になります。(電気工  
事業者によるD種接地工事が必要です。)



この製品は業務用ですので子供だけで使  
わせたり、幼児の手の届くところ  
に設置しないこと



感電、ケガの原因になります。

#### 電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コー  
ドの使用及びタコ足配線をした場合には、  
感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に  
据え付けないこと



絶縁低下から漏電、感電の原因になりま  
す。

#### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏  
電・感電の原因になります。



熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かない  
こと



熱でプラスチックが溶けたりして危険で  
す。

### 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え  
付けること

据え付けに不備があると転倒、落下による  
ケガなどの原因になることがあります。



直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



## ■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。  
使用電源電圧は90V~110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障  
は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削筒内などに入っている恐  
れがありますので、掃除をしてください。  
(P.10 毎日のお手入れ参照)

## 警告

運転中に、切削筒や排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



禁止

食材を入れるときは、無理に手で押し込まないこと

無理に手で押し込むと、手が食材と一緒に入り込み、ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

## 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

切削筒の中に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削筒・排出室にないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

切削筒・排出室は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

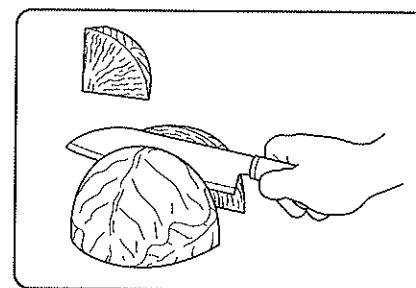


掃除

## お願い

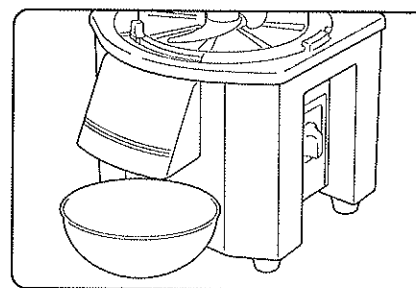
- 電源スイッチをON(入)にする前に食材の投入はしないでください。過負荷により故障の原因になります。
- 切削筒内に食材が残っているときは、食材の追加はしないでください。故障の原因になります。

## ■運転の手順



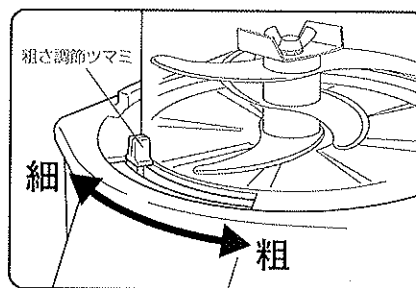
1 食材を用意する。

- 食材を切削筒に入る大きさ約8cm角以下に切ってください。



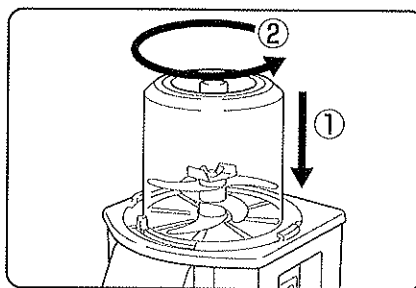
2 容器を準備する。

- 排出口の下にみじん切りされた野菜を受けるボールなどの容器を置いてください。



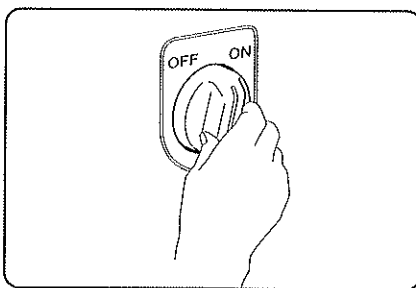
3 粗さを調節する。

- 粗さ調節ツマミを左右に回してお好みの粗さに合わせてください。粗さ調節ツマミを左端にすると最も細くなり、右端にすると最も粗くなります。



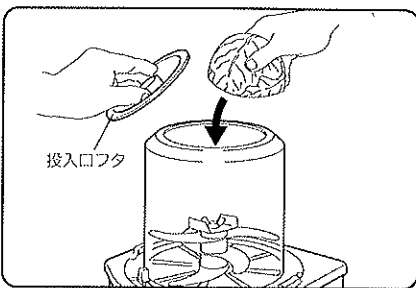
4 切削筒の確認をする。

- 切削筒は、刃物の上から被せ「しめる」の方向へ回すとセットされます。正しくセットされていないと電源スイッチを入れても刃物は回転しません。



5 電源を入れる。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源スイッチをON(入)にしてください。運転が開始されます。

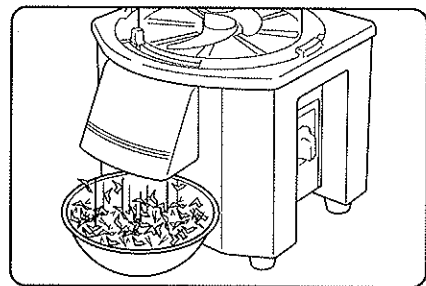


6 食材を投入する。

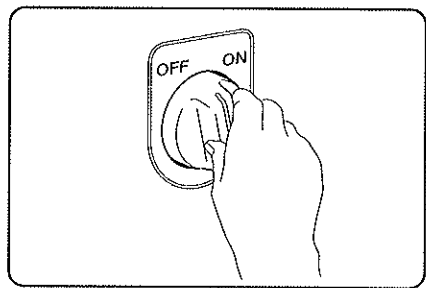
- フタを開けて、食材を投入してください。
- フタを閉めてください。

※食材を入れるときは、無理に手で押し込まないでください。無理に手で押し込むと、手が食材と一緒に入り込み、ケガの原因になります。

# お手入れ



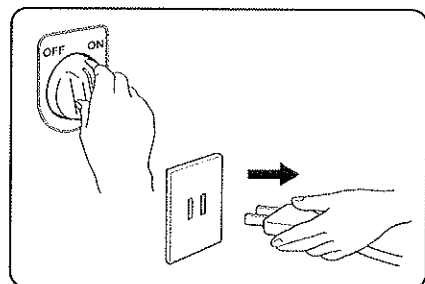
**7** 排出口から、みじん切りされた食材が排出されます。



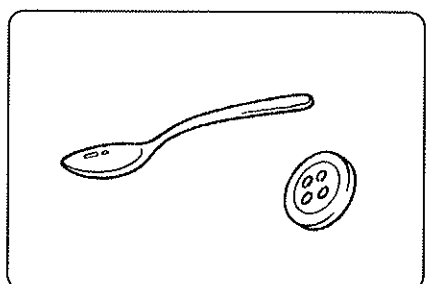
**8** 電源スイッチをOFF (切) にする。  
 ●運転が停止します。  
 ●一日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■プロテクターについて

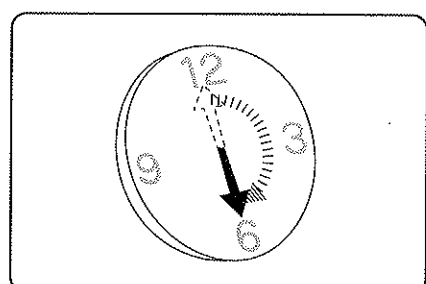
- 本製品は、定格時間が「30分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱し、プロテクターが作動して、製品が停止します。また負荷がかかり過ぎたときにも同様、製品が停止します。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



**1** 電源スイッチをOFF (切) にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



**2** 過負荷の原因を取り除いてください。食材・異物 (スプーン・つま楊枝・ボタンなど) を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



**3** 30分放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。  
 ※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

## ■安全スイッチについて

- 運転中に切削筒を動かすと危険防止の為、安全スイッチが動き、製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。

## ⚠ 警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

刃物セットの取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF (切) にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

感電・ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

## ⚠ 注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

切削筒内や排出口は使用前に必ず掃除すること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



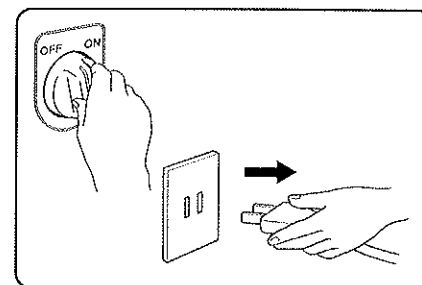
禁止

## お願い

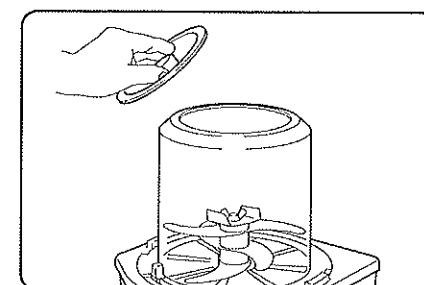
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

## ■毎日のお手入れ

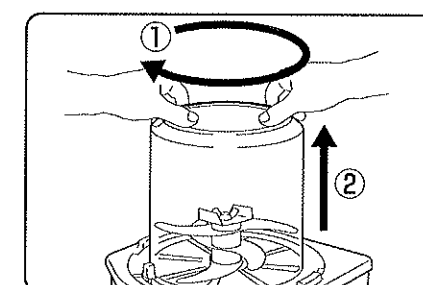
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が腐り衛生的に非常に悪くなります。



**1** 電源スイッチを切る  
 電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



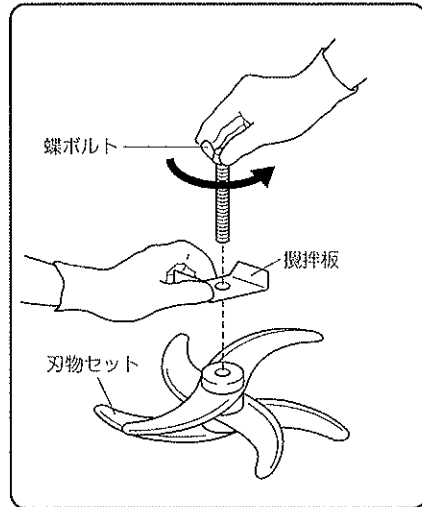
**2** フタを取り外す



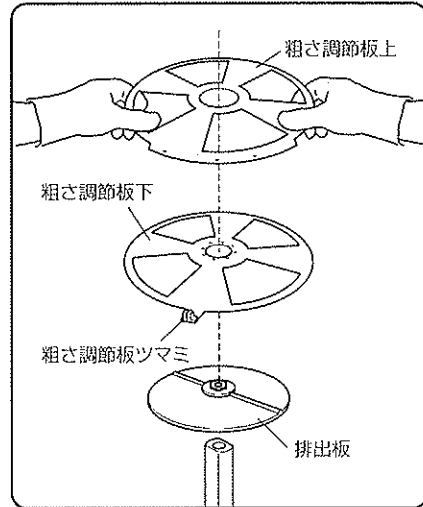
**3** 切削筒を外す  
 両手で切削筒を挟み「はずす」の方向へ回し、上へ持ち上げて取り外してください。



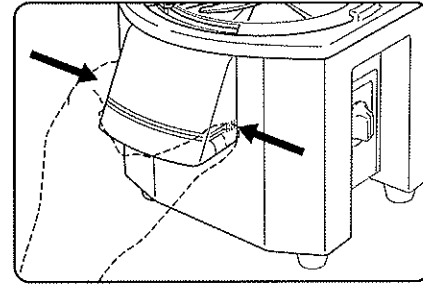
## ■1年に1～2回の点検



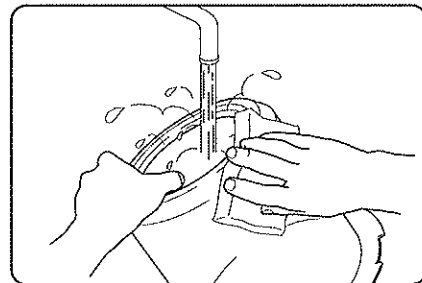
- 4 刃物セットを外す**  
必ず手袋を着用してください。攪拌板を手で固定し、蝶ボルトを反時計方向に回して取り外し、攪拌板・刃物セットを取り出してください。



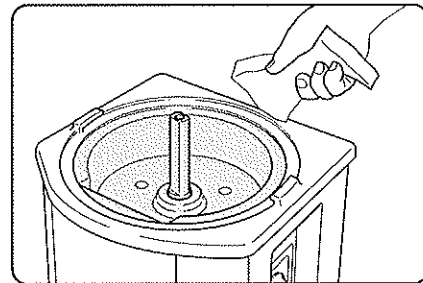
- 5 粗さ調節板を取り外す**  
粗さ調節板は上に持ち上げて取り外してください。排出板は、主軸にそって上へ持ち上げて取り外してください。



- 6 排出口を取り外す**  
排出口の両側面にある「PUSH」位置を軽く押えながら引いて取り外してください。

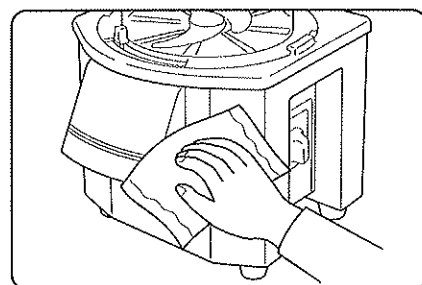


- 7 洗浄する**  
切削筒・排出板・排出口・粗さ調節板・攪拌板・蝶ボルト・刃物セットは水洗いし、乾いた布で水気を拭き取ってください。



- 8 排出室の掃除**  
網かけ部の汚れは、スポンジに含ませた水で洗い流してください。その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

## ■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）



- 中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。

## 警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと  
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

## アース線の点検

- アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？  
異常がある場合は、電気工事に修理依頼してください。

## 電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか？  
他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？  
ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？  
異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

## ■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

# 故障の見分け方と処置方法

## ⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）  
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

## お願い

- 故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。  
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.9 参照)
	●切削筒が正しくセットされていますか？	●正しくセットし直してください。(P.8 参照)
	●電源スイッチを入れる前に食材を投入していませんか？	●電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜いてから、食材を取り除いてください。
食材の切れ味が悪い	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を交換してください。

## 譲渡・廃棄

### ■譲渡

## ⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止め



テープ止め

### ■廃棄

## ⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

## 仕様

品名	パーティカルフードカッター
型式	CV-150B
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	160/150W
定格時間	30分
質量	5kg
外形寸法	幅230×奥行272×高さ380mm